|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 令和５年度　西尾市高齢者虐待防止協議会  （兼西尾市地域包括ケアシステム推進会議高齢者専門部会） |
| 日時 | 令和５年８月９日（水）午後１時３０分～２時４０分 |
| 場所 | 西尾市役所 ５１ＡＢＣ会議室（５階） |
| 出席者 | 委員１９名、事務局７名 |
| 傍聴者 | なし |
| 協議事項 | ※各議題は事務局から説明  〇西尾市における高齢者虐待の状況について  令和４年度の相談通報件数３９件、待判断件数６件、被虐待者の性  別は女性７割、被虐待者の年齢は８０歳～８４歳が最も多い。  〇在宅医療と介護の連携に関すること  在宅医療介護連携支援センターを長寿課内に設置。昨年10/16に在宅医療市民フォーラムを開催。市民に在宅医療と介護のことを知ってもらうのが狙い。今年は10/15に開催予定、テーマは「リハビリ」  〇認知症総合支援の施策に関すること  昨年度、チームオレンジを設立、劇団「うねぎのねどこ」を立ち上げ、寸劇を通して認知症理解への普及促進を図っている。  〇地域ケア会議の推進に関すること  地域の様々な関係者が協働し、高齢者の生活を地域全体で支援していくことを目的としている。個別事例、地域課題、多職種協働カンファレンスを実施。  〇生活支援サービスの体制整備に関すること  高齢者生活支援体制整備事業について説明。現在サービスを実施する「高齢者支え隊」の登録人数は150名。支え隊を母体として第３層協議体を設置し、団体での活動を行う。令和５年度の登録団体数は17団体。 |
| 質疑応答 | Ｑ）在宅医療介護連携支援センターへの相談について、昨年度は何件、又どんな内容か？  Ａ）件数は827件。主に専門職からのICTに関するもの。他に市外の総合病院からの相談で、転院するうえで本市の在宅医療実施機関の問い合わせ、一般の方からは「在宅で医療を受けるにはどうしたらいい」といった相談が多い。  Ｑ）生活支援サービスの依頼件数としてどんな内容が多いか？  Ａ）話し相手が多いが、中には緊急支援として台風時の雨戸の戸締りなど |